

会員一覧（本社所在地）

九州・沖縄地区

有限会社 赤坂鑑定事務所
株式会社 インステック・アール
有限会社 沖縄損保鑑定
株式会社 共 和
株式会社 三立鑑定
株式会社 相 鑑
株式会社 高本損害鑑定事務所
株式会社 福岡損保鑑定
株式会社 ホーネット鑑定

中国・四国地区

インフィニティ 株式会社
黒崎鑑定社
西日本鑑定 株式会社
関西地区
あおぞら総合鑑定 有限会社
あずま鑑定
大野鑑定事務所
株式会社 かがやき鑑定
有限会社 神戸天神鑑定
有限会社 酒井鑑定事務所
有限会社 さくら鑑定事務所
株式会社 三和鑑定事務所
有限会社 高本鑑定事務所
有限会社 天神鑑定関西
株式会社 トラストクレームサービス
阪和鑑定 合同会社
湊損害鑑定 有限会社
株式会社 若葉総合鑑定

中部地区

有限会社 葵鑑定事務所
株式会社 アスカ総合鑑定
有限会社 遠州損保鑑定事務所
有限会社 グローバル鑑定事務所
有限会社 静岡損保鑑定
有限会社 高岡鑑定事務所
株式会社 中部総合鑑定
有限会社 つばさリスクアジャスティング
有限会社 北陸損保鑑定
株式会社 丸の内鑑定事務所
みずほ鑑定 株式会社
株式会社 名 鑑
有限会社 大和鑑定

関東地区

合同会社 iCube
株式会社 あずさ損保鑑定事務所
株式会社 甘糟鑑定事務所
いろどり鑑定 株式会社
内山鑑定 株式会社
有限会社 共和鑑定
株式会社 芝浦鑑定
株式会社 湘南鑑定
株式会社 中央損保鑑定
株式会社 東 鑑
東京損保鑑定 株式会社
株式会社 永松鑑定事務所
株式会社 みなと鑑定事務所
有限会社 むさし野損害鑑定
株式会社 山貴総合鑑定
株式会社 横浜鑑定事務所
株式会社 ライフ鑑定調査事務所

北海道・東北地区

株式会社 札幌鑑定
株式会社 デーエム
有限会社 道央損保鑑定
株式会社 北海道鑑定
杜の都鑑定 株式会社
渡部鑑定事務所

※エリア別・五十音順

フォーラム実行委員会メンバー

委員長 公益社団法人 日本損害鑑定協会 理 事 田 辺 克 久

委 員 公益社団法人 日本損害鑑定協会 理 事 藤 原 昌 明

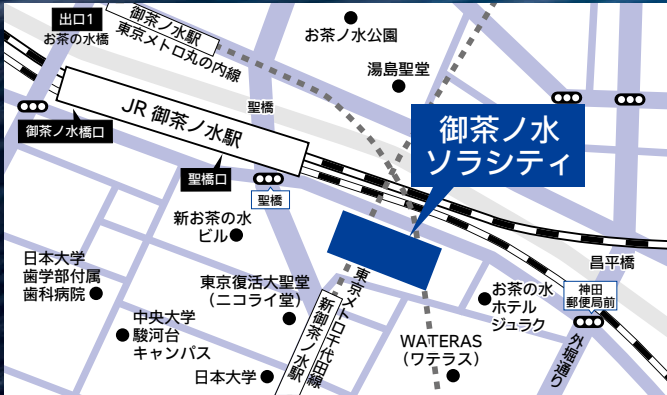
委 員 内山鑑定 株式会社 上 川 賞

役員一覧

会 長	太田 英俊（株式会社 中央損保鑑定）
	伊藤 優（株式会社 アスカ総合鑑定）
副 会 長	加藤 友好（株式会社 名鑑）
	田中 公成（株式会社 甘糟鑑定事務所）
専 務 理 事	永島 孝司（公益社団法人 日本損害鑑定協会）
	岩泉 和則（株式会社 東鑑）
	小関 忠司（内山鑑定 株式会社）
	高本 吉孝（株式会社 高本損害鑑定事務所）
	田辺 克久（株式会社 北海道鑑定）
理 事	樽角 保洋（株式会社 みなと鑑定事務所）
	永松 一剛（株式会社 永松鑑定事務所）
	野田 昇一（株式会社 かがやき鑑定）
	藤原 昌明（株式会社 三和鑑定事務所）
監 事	森下 泉（株式会社 札幌鑑定）
	野間 隆則（西日本鑑定 株式会社）
	森園 哲之（株式会社 福岡損保鑑定）

※五十音順

会場アクセス



- 電車をご利用の場合
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」 B2出口より徒歩約 1分
東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」 出口 1より徒歩約 4分
JR中央・総武線「御茶ノ水駅」 聖橋口より徒歩約 1分

主催 **公益社団法人 日本損害鑑定協会** 損害鑑定フォーラム事務局
〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町 2-9 TEL 03-3254-6454(代)
<https://www.laaj.or.jp/>

The 11th SONGAI KANTEI FORUM

第11回 損害鑑定フォーラム

テーマ **挑 戦**
～損害鑑定を新たなステージへ～

2025
11.29 土
13:00～17:50(開場 12:00)

会 場

御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター2F
「sola city Hall」
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6

主催

公益社団法人 日本損害鑑定協会

後援

一般社団法人 日本損害保険協会
一般社団法人 日本損害保険代理業協会
株式会社 保険毎日新聞社

一般社団法人 外国損害保険協会
公益社団法人 全国消費生活相談員協会
株式会社 新日本保険新聞社



Message

公益社団法人 日本損害鑑定協会
会長 太田 英俊

会長メッセージ

今年も全国各地で集中豪雨や、落雷、降雷等の自然災害が多発しており、みなさんご多忙のことと思います。そのような中ではございますが、業界の発展と損害鑑定に関わる情報共有を目的として始めた損害鑑定フォーラムも、今年で第 11 回目を開催することとなりました。

年初から準備しているワーキンググループのメンバーを始め、ご講演やパネルディスカッション等でご協力いただく専門家のみなさまのみならず、日頃よりご支援をいただいているみなさまに、改めて厚く御礼申し上げます。

今年の損害鑑定フォーラムは、昨年の第 10 回記念大会後の新たなスタートと位置づけ、メインテーマを「挑戦～損害鑑定を新たなステージへ～」と題し、個別テーマとして「落雷」と「生成 AI」の二つを取り上げました。今後の鑑定業界を担う中堅、若手鑑定人による新味ある取組みをベースに、専門家の方々との意見交換やご講演を交えて、各テーマの領域を深掘りしていきます。

今回の二つのテーマは過去に取上げたこともありますが、「落雷」については近年多発している「事故事例」を中心に議論を深め、「生成 AI」については、「生成 AI」の急激な進化に伴いさまざまな問題が発生していることを踏まえ、フェイク画像等に対する考察を行い、新たな切り口で検証していきますので、ご堪能いただきたいと思います。

当協会は 1975 年に「日本損害保険鑑定人協会」として設立し、10 月で創立 50 周年を迎えました。今後も、新たな取組みを積極的に取り入れ、継続的に発展を続けていけるよう、また、公益社団法人としての責務を果たすべく努力してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

プログラム

13:00-13:10

13:10-15:10

15:10-15:40

15:40-17:40

17:40-17:50

総合司会 株式会社 東京損保鑑定 柏 木 馨 太

※プログラムの内容は、事情により変更が生じる場合があります。
(敬称略)

オープニング

開会挨拶 公益社団法人 日本損害鑑定協会 会 長 太田 英俊

1. 落雷

事案解決の糸口を探る

多発する落雷事故のメカニズムを知り、判断の“羅針盤”を手に入れる

【協力いただいた方】.....

一般社団法人 日本雷保護システム工業会 技術委員会 山田 康 春
委 員 長

株 式 会 社 フランクリン・ジャパン 取 締 役 松 井 倫 弘
技 術 部 部 長

有 限 会 社 むさし野損害鑑定 代表取締役 竹 内 康 人

【ワーキンググループ】.....

(リーダー)株 式 会 社 甘 糟 鑑 定 事 務 所 小 森 成 示
株 式 会 社 高 本 損 害 鑑 定 事 務 所 浅 野 麗 奈
株 式 会 社 三 和 鑑 定 事 務 所 清 水 周

休 憩

コーヒースタンド（協賛企業紹介）

2.生成AI

損害鑑定にもたらす光と影

生成 AI の“今”を知り、損害鑑定人は、どう向き合い、どのように活かすか

【協力いただいた方】.....

国立情報学研究所 研究主幹教授 越 前 功

【ワーキンググループ】.....

(リーダー)株 式 会 社 名 鑑 山 川 僚 介
株 式 会 社 ア ス カ 総 合 鑑 定 加 藤 達 弥
湊 損 害 鑑 定 有 限 会 社 溝 渕 洋 二

エンディング

閉会挨拶 公益社団法人 日本損害鑑定協会 理 事 田 辺 克 久

1. 落 雷

事案解決の糸口を探る

異常気象などの影響で、落雷の発生件数が増加しており、それに伴い設備損壊や電子機器障害の事故も増えています。鑑定現場では「本当に落雷による損害か」を正確に見極める調査力がより一層求められています。被害発生の際緯や電氣的損傷の状態、気象データとの整合性など、多角的な情報を総合して原因を特定する作業は容易ではなく、的確な判断には専門的知見と実践的経験の双方が不可欠です。

そこで本年は、「【落雷】事案解決の糸口を探る」をテーマに掲げ、落雷被害の実態や調査手法の現状、そして現場で直面する課題について検討します。まず、一般社団法人雷保護システム工業会様および株式会社フランクリン・ジャパン様をお招きし、雷発生の基礎や最近の傾向、調査に役立つ技術的知見についてご講演いただきます。

続いて、実際の落雷事故を題材に、被害状況の把握、原因の切り分け、損害との因果関係の検証など、調査プロセスにおける要点を整理し、パネルディスカッションを行います。パネルディスカッションには、第4回損害保険鑑定人フォーラムにも参加された、有限会社むさし野損害鑑定の竹内社長にも参加いただき、若手鑑定人および落雷の専門家により、現場での判断の精度向上や調査のあり方について意見を交わします。

本フォーラムを通じ、落雷調査における課題と向き合い、より実践的かつ再現性のある調査手法の“解決の糸口”を見いだす機会としていきます。



リーダー
小森 成示
株式会社 甘糟鑑定事務所

2. 生成A I

損害鑑定にもたらす光と影

生成 AI の急速な進化は、未来に明るい可能性をもたらす一方で、犯罪などの悪質な行為にも利用され、社会に暗い影を落としている側面もあります。巧みに生成された虚偽の画像・映像・文書（フェイクメディア）は真贋の判別が難しく、情報リテラシーの向上がこれまで以上に求められる時代が訪れています。

本フォーラムでは、生成 AI がもたらす光、そして影とはどういうものか、について考え、われわれ損害鑑定人でひとつの視点を共有し、理解を深めることで、鑑定業務の未来を見据える一助となることを目指します。

前半では、フェイクメディア対策の第一人者である国立情報学研究所の越前 功教授をお招きし、生成 AI によって生み出される実態と悪質な側面について、研究成果を交えてご紹介いただきます。

後半では、ワーキングメンバーと越前教授によるパネルディスカッションを通じて、生成 AI の普及が鑑定業務に与える影響を検討します。実務への応用や将来的な展望に加え、起こり得る不正請求などについても丁寧に読み解きます。

最後に、生成 AI に対する鑑定人のあり方について議論し、どうあるべきか、今なにをすべきか、多角的に見つめ直します。情報リテラシーを高めることで、未来に向けた一步を踏み出す機会としていきます。



リーダー
山川 僚介
株式会社 名 鑑

携帯電話、スマートフォンから QRコードを読み取り、表示されたアンケート画面にて、ご回答ください。
パソコンでお答えいただく方、または QRコード読取機能がない方は、「<https://00m.in/Ktpor>」よりご回答をお願いします。

今後の参考とさせていただきますので、
是非、ご協力ください。



フォーラムアンケート
QRコード

アジア航測 株式会社

アジア航測は令和6年能登半島地震における日本損害保険協会の共同調査支援を行い、地震保険金の支払い迅速化に貢献しました。当社は調査のための資料収集やデータ作成・環境整備・アプリ操作支援などを実施。GISアプリケーション「ArcGIS Pro」の2画面連動機能や被災前後の航空写真を活用し、津波流失・火災焼失・建物倒壊の被害度合の判読作業が進められました。効率化を図ったこの取り組みを通じ、地震保険の損害調査・保険金支払の迅速化に貢献いたしました。

今後も大地震に備えたより良い共同調査のために、当社は引き続き支援を行ってまいります。

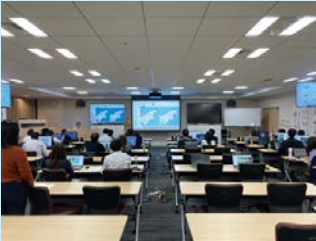
オンラインでの技術紹介や商談などを承っております。お気軽にご連絡ください。
<https://www.ajiko.co.jp/online>

株式会社 APC

株式会社APCは、「遠隔臨場システム・アイちゃん」で皆さまの業務効率化に貢献したいと考えております。本システムはスマートフォンにウェアラブルカメラを繋げて「撮る」「見る」「録画する」「話す」を簡単に実現することが出来ます。全国どこからも接続可能ですので、**本社、拠点と現地、ベテラン鑑定人と初心者社員、そして災害発生時の被災地との情報共有も容易にはかれます。また、損保会社との連携も可能です。**

是非、トライアルからでも結構ですので本システムを実感願います。

<http://www.ajiko.co.jp/>



<https://www.oita-apc.co.jp>



オーセブン 株式会社

オーセブンはリフォーム・住宅・エクステリアの最新のCAD・提案ツールを自社で設計・開発しています。iPad 専用アプリ「SpeedPlanner（スピードプランナー）」はApplePencilで、線を引いてくだけであっという間に間取りが出来る作図ツールです。今まで紙と鉛筆、または事務所に帰ってパソコンで描いていた作業が、現場で完結します。DXF、JWデータに変換も可能です。現在すでに多くの損害鑑定事務所の方々にお使いいただいております。損害鑑定人の皆様のお仕事をもっと「楽」にするため、さらなるアップデートをしました。損害鑑定協会会員様へ特別価格をご用意しております！ご希望の方はアプリをダウンロード・サブスクリプションの登録を行う前にお問合せ下さい。webpro@o-seven.co.jp

<https://speedplanner.biz/>



株式会社 CUBIC

株式会社CUBICは、高所撮影・俯瞰撮影ができる高所撮影点検システムを、開発・販売しております。高所撮影点検システムは、自由に持ち運びながら、地上に設置して11.5mの高さまで撮影できるシステムです。三階住宅をより詳細に撮影することができます。Wi-Fi デジタルカメラを使用し、簡単な操作で、高精細な撮影ができます。住宅屋根や外壁、樋、太陽光パネル、高速道路、構築物、高所設備などの点検、災害現場や建築現場、遺跡や文化財の撮影・点検などにお使い頂いております。

<http://www.cubictech.jp/>



一般社団法人 構造耐力評価機構

構造耐力評価機構は、建築物および電気工作物の構造安全性に関する調査・診断・試験研究・評価を通じて、安心・安全な国民生活の実現に寄与することを目的として、2019年1月に設立された第三者機関です。2012年の再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT 制度）の導入に伴って急増した太陽光発電設備は、暴風・大雪・落雷などによる被害も増加しており、損害保険料高騰が問題になっています。当機構では、これらの設備の被害原因調査を実施するとともに、構造計算書の確認を通じて、不適切な設計や構造耐力不足の有無を評価する調査も行っております。また、経済産業省からの受託事業やNEDOの研究業務を通じて、太陽光発電設備の構造安全性向上に寄与する活動も行っています。さらに、2024年4月より火災を受けた建築物の火害調査・診断を開始し、構造部材の火害等級や建物の被災度を判定することで、被災建築物の再利用に向けた支援を行っております。

<https://spei.or.jp>



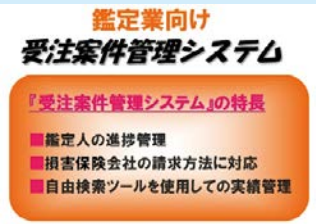
株式会社 総合システムプロダクツ

株式会社 総合システムプロダクツは、ユーザー企業の業務の効率化・活性化における高度戦略システムの構築、運用支援、情報機器の販売、セキュリティ対策、クラウドサービスまでトータルに提供・提案させていただきます。また NEC のプラットフォームパートナーとして、AI や画像認識の提案も可能です。

- 電子帳簿保存法に対応したソリューションの提案も可能です。
- 鑑定業向け・受注案件管理システム…案件の対応状況・進捗管理、請求書の発行が可能。DX情報のダウンロードサイトをご用意しております。

管理者様、ぜひご登録をお願いします。
<https://www.kk-ssp.co.jp/>

<https://www.kk-ssp.co.jp/>



nat 株式会社

私たちは日本の住宅関連産業を最先端の技術でサポートするアプリ「Scanat（スキャナット）」を提供しています。Scanat は iPhone/iPad でスキャンするだけで、同種アプリ内最高の精度での計測（mm 単位）が可能な iOS アプリです。簡単な操作で、屋外や屋内などの空間を高精度に記録することができます。これまで空間に関するやりとりは図面や写真、ビデオのみでしたが、Scanat はデジタル空間の構築を通じて、「まるで現場にいるかのような、現場をそのまま持ち帰るような」体験を実現します。

<https://www.natincs.com>



一般財団法人 日本建築総合試験所

日本建築総合試験所（GBRC）は、建築全般に関する試験・研究、評価、審査、認証等を行う公正中立な第三者機関です。このうち、耐震耐久性調査室が行う火害診断業務では、火災にあった各種建物を対象として、日本建築学会「建物の火害診断および補修・補強方法 指針・同解説」に基づく現場調査を実施しています。この調査により、対象建物の構造部材の火害等級および建物の再利用の可否を判定するとともに、補修・補強の要否を判断するための資料をご提供します。さらに、火害診断後には、構造部材の復旧計画の技術監修や復旧工事の現場確認を第三者機関の立場で行うなど、お客様のご要望に応じた業務も提案させていただきます。

<https://www.gbrc.or.jp/>



株式会社 フランクリン・ジャパン

フランクリン・ジャパンは落雷データをメインコンテンツとし、雷情報の提供を通じて、社会を雷害から守ることを目的に展開している気象情報会社です（気象庁予報業務許可第33号）。全国を網羅する独自の雷観測ネットワーク（JLDN）を構築しており観測ネットワークで得られた高精度の落雷データをリアルタイムに提供し、屋外レジャー施設や工場等で人命や設備を守るための防災情報として活用されています。全国を網羅したデータはおよそ20年にわたり蓄積しており、保険会社様や調査会社様に対しては落雷が所定の場所/日時にあったか否かの事実確認用データとして広くご利用いただいております。また、落雷データのご発注からお支払いまでをWebでの一括管理とし、省力化、迅速化を実現させたサービス「落雷データ出力システム -LiDaS-」は250超の事務所様にて利用実績がございます。サービス導入についてご関心がございましたら是非お問い合わせください。

<https://www.franklinjapan.jp/>



ベルフォアアジアグループ ベルフォアジャパン 株式会社 リカバリープロ 株式会社

ベルフォアは、事故災害早期復旧サービスの提供を専門とする世界最大級の企業グループです。経験豊富な専門スタッフが現場に駆け付け、お客様の早期復旧を24時間365日対応でお手伝いします。ベルフォアアジアは、シンガポールに本社を置き、日本、韓国、台湾、タイ、マレーシアにある拠点において、アジア全体の復旧事業を手掛けています。日本では、ベルフォアジャパンとリカバリープロが、それぞれ異なる保険会社を分担しております。

右記より、各社の情報サービスプラットフォームへの登録が可能です。



ベルフォアジャパン



リカバリープロ

株式会社 マスタックエフ

株式会社マスタックエフは、屋根・外装工事のエキスパートです。屋根工事事業では『技術の向上』、『新たな製品』、『施工の技術開発』を通じて、お客様の大切な財産を屋根から守り、快適な日常を提案しております。損害保険調査事業では、近年の自然災害の激甚化、頻発化により増加する屋根・外壁の損害に対し、屋根・外壁工事の専門業者としての技術と経験を活かし、プロとしての見地より損害の確認・調査を行っております。また近年問題視されている火災保険金をめぐる不正請求や、調査時に見られる様々な事象に対し、風洞実験や引抜き実験、曝露実験などの社内実験を通じて検証を行い、質の高い鑑定支援の提供を実施しております。

<https://www.belfor.com/ja/jp>

<https://recoverypro.jp/>



<https://mastaxf.jp/company>



メインマーク 株式会社

「傾いた床や建物を水平に戻すこと」「今ある床や建物を傾かせないこと」を主な事業内容とするメインマークは、業務を止めることなく傾いた床を水平に戻す「テラテック工法」をメインに、お客様の悩みに合わせた様々な工事をご提案から調査、施工まで提供しています。

■事業内容：土間床の沈下修正、空洞充填、建物下の地盤改良・強化、建物の傾き修正、振動解析による建物の耐震性能調査、液状化対策工事など

■特長：メインマークには、一級建築士を始め、建築、土木、地盤、液状化、構造振動の専門家が在籍しております。建物や地盤の状況、お客様の抱えるお悩みにより、幅広い工法とサービスから最適な提案を行います。

<https://mainmark.co.jp/>

